

K A K E G A W A

かけがわ 第25号

# 市議会 だより

平成22年5月1日

編集/発行 掛川市議会

静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1

☎ 0537(21)1160

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp>

建設進む新東名、雨の中マス釣り大会が行われた(原田地区)

**おもな内容** ————— **CONTENTS**

- 平成22年度当初予算概要 2ページ
- 特別委員会委員長報告 4ページ
- 一般質問 6ページ
- 議会を振り返って 10ページ
- 傍聴席/6月定例会の予定 12ページ

# 平成22年度 掛川市当初予算

3月定例会へ上程された、平成22年度の掛川市一般会計当初予算は407億円で、前年度に比べ11億円、2.8%の増となりましたが、子ども手当の増額分12億円を除くと、ほぼ前年度並みの予算規模といえます。また、15の特別会計と病院、水道の2企業会計を合わせた予算総額は769億円となりました。(いずれも原案のとおり可決されました。)

## 一般会計予算の特記事項

### 歳入

- 長引く景気の低迷から、個人および法人市民税収入の大幅な落ち込みが見込まれることなどから、前年度対比マイナス6.5%、13億円余の減収が見込まれること。
- これに伴い、地方交付税の増額を見込むとともに、不足する財源を補うために財政調整基金を14億円取り崩すこと。
- 臨時財政対策債の借り入れ18億8,700万円を計上したこと。
- 子ども手当支給に係る国庫支出金が12億円増額されたこと。



### 歳出

- 3つの日本一まちづくりを重点施策として予算配分を行ったこと。

3つのまちづくりとは、

**健康医療日本一 35.6億円**

医療・福祉・保健・介護を総合的に支援するための体制を整備

**環境日本一 12.6億円**

新エネルギー等普及促進事業を大幅に拡充、日本一環境負荷の少ないまちを目指す

**市民活動日本一 1.8億円**

市民主体の行政運営に向けた体制づくりを進め、市民活動の充実を図る

- 児童手当と子ども手当をはじめ、福祉、保健施策に係る扶助費、医療費等に係る義務的経費を確保するとともに、「保育ママ」事業等による待機児童解消策や、子ども医療費助成の拡充(小学1年～3年生までの通院助成開始)が図られたこと。
- 厳しい経済情勢を勘案し、低所得世帯の支援を配慮して国保会計への基準外繰り出し7億円を行うこと。
- 事業見直しにより、人件費、物件費、補助金等の削減を行ったこと。
- 地区要望の小規模修繕に対応する地域環境調整費3億円を計上したこと。
- 合併推進道路整備事業費として6億円余を確保したこと。

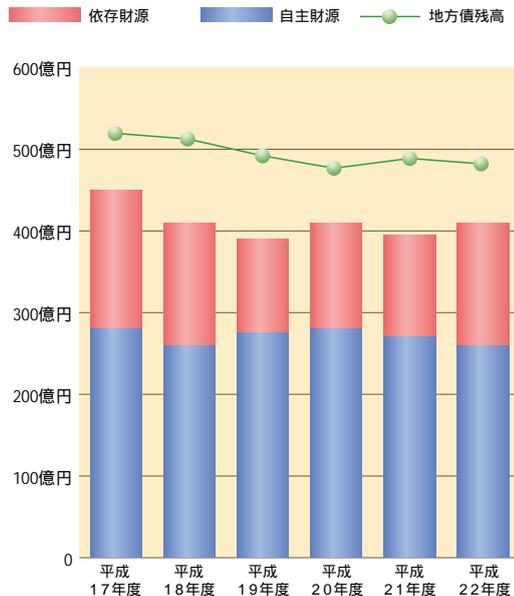
### ❖ 平成22年度掛川市各種会計予算規模の前年度比較表 ❖

会計区分		22年度	21年度	増減率
一般会計		407億円	396億円	2.8%
特別会計	国民健康保険	100億7,208万円	97億5,700万円	3.2%
	老人保健	162万円	1,515万円	△89.3%
	後期高齢者医療保険	10億859万円	9億7,817万円	3.1%
	介護保険	73億8,789万円	71億5,342万円	3.3%
	公共下水道事業	23億7,243万円	27億4,781万円	△13.7%
	農業集落排水事業	2億2,930万円	3億3,650万円	△31.9%
	浄化槽市町村設置推進事業	2億2,880万円	2億4,131万円	△5.2%
	その他の会計	6億8,139万円	6億396万円	12.8%
	計	219億8,210万円	218億3,332万円	0.7%
企業会計	病院事業	98億4,584万円	105億5,718万円	△6.7%
	水道事業	44億1,113万円	48億1,262万円	△8.3%
	計	142億5,697万円	153億6,980万円	△7.2%
合計		769億3,907万円	768億312万円	0.2%

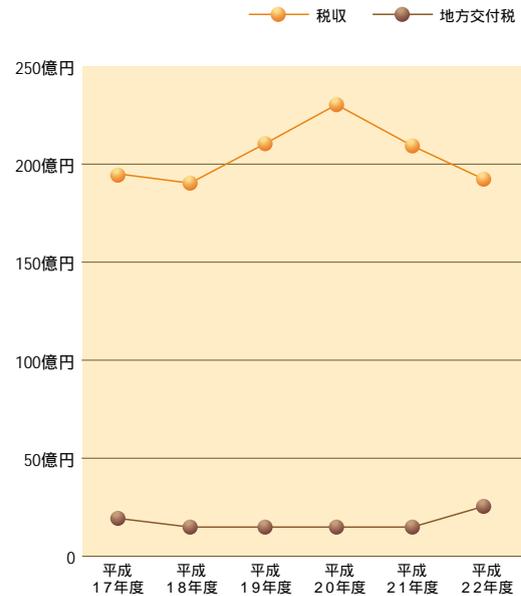
#### 〈借金と貯金〉

- 22年度末の一般会計地方債残高は469億1,363万円と、21年度末残高に比べ、8億9,321万円の減少を見込む。
- 財政調整基金の22年度末現在高は5億243万円と、21年度当初における年度末見込額3億396万円に比べ1億9,847万円の増加、改善を見込んでいる。

#### 一般会計当初予算



#### 税収と地方交付税の推移



※地方債残高について、平成17年度から20年度までは年度末残高で、平成21、22年度は年度末見込額



# 特別委員会 委員長報告

特定の案件を審査するために設置された特別委員会は、それぞれのテーマに基づき、一年間施策の検討を行ってきました。3月定例会において、検討内容や提言について、各委員長から報告がありましたので、要旨を掲載いたします。

## 新病院建設・地域医療 対策特別委員会

本特別委員会は、新病院を期限内に建設すべく一部事務組合設立から負担割合やアクセス道路計画等の課題、病院跡地利用や地域医療のあり方について調査研究を行っていくため、平成二十一年五月十四日開催の臨時会において設置されました。

五月二十九日に第一回特別委員会を開催し、昨年四月に設立された掛川市・袋井市新病院建設準備会の規約や新病院建設事務組合、管理運営の経費負担割合（掛川市六〇％袋井市四〇％人口比率を基に算出）及び組合事務所を勤労者福祉館内に開設することを決定、六月四日の第二回では、これからの協議内容、スケジュール等について協議し、一部事務組合関連の件、建設費負担割合の件、用地造成・アクセス道路計画の件、地域医療システムの件、病院跡地利用の件について調査研究していくことが確認されました。

七月十七日には、新病院建設組合が設立され、当組合議会は両市議会議員五人ずつで管理者は袋井市長、副管理者に掛川市長、組合議長は掛川市議会議長となりました。

七月二十二日の第三回では、地域医療再生基金の概要や新病院の基本

設計業者の選定には公募型のプロポーザル方式が示されると同時に、新病院建設費の想定額は、用地費八億円、造成費一〇億円、医療機器を含む建設費は二〇七億円で総額二二五億円の概算費が示され、引き続き建設費等に関わる負担割合について協議しました。

八月十七日の第四回では、市長から、新病院建設の負担割合は掛川市六〇・六％、袋井市三九・四％で合意できた旨の報告があり、本特別委員会はこれを了としました。内容は人口割六五％（これは人口の増減にあわせて毎年度変更する）均等割二〇％、距離割一五％であります。この後引き続き、県が策定した中東遠地域医療再生計画の骨子（案）について協議しました。

また、二月の市議会全員協議会でかねてから懸案となっておりました新病院長人事であります。市長より勇退される五島一征病院長の後任として、本年四月から常滑病院副院長の名倉英一氏が内定した旨の報告がありました。新病院開院に向け全力でのご尽力を期待申し上げます。

本特別委員会は、年八回の協議を重ね、設置目的の一部事務組合設立から新病院建設事務組合の管理運営経費の負担割合並びに敷地造成や周辺のアkses道路計画などについて

協議をし、方向性を導きだしてまいりました。また、協議した地域医療のあり方では、二十二年度から掛川地区東部地域で地域健康医療支援センター（仮称）がスタートする計画であります。

しかし、新病院建設関係及び周辺のアクセス道路計画や病院跡地利用については、継続して調査、検討、協議していく課題が残っております。したがって、中東遠地域住民が必要とする質の高い医療を将来にわたり確保するという目的に向かい引き続き調査研究していくことが大事ということをお願い申し上げます。本特別委員会



## 財政問題 特別委員会

昨年四月「希望が見えるまち」「誰もが住みたくなるまち」を公約に松井市政が発足し、新たな行財政運営がスタートいたしました。しかしながら世界経済は急速な悪化へと進み、日本の経済にも影響を与えております。本市の厳しい財政の現状等を踏まえ、計画的な抑制施策や自主財源などについて調査・研究を行っていくために、本特別委員会は昨年研究していく課題としては、新市建設計画や第一次掛川市総合計画に位置付けられ、合併時の最重要課題である「南北幹線道路整備」、地域医療の再構築である「新病院建設」、大型プロジェクトの「下水道整備事業」、「扶助費や補助金及び委託事業の検討」これらについて延べ六回の委員会を開催し、議論が交わされました。県下ワーストワンであった将来負担比率やワーストスリーである実質公債費比率についての議論は特に大変厳しいものでありました。

掛川市が全国に誇れる「生涯学習都市宣言」や「報徳精神」の教えを守り身の丈にあった健全財政を進めるために次のとおり提言しました。

一、中長期的、戦略的な債務管理を行うため、債務削減計画を含んだ「新たな財政計画」を早期に策定すること。

二、「事業の選択と集中」のもと、投資的経費は、「南北幹線道路整備」と新病院建設を最優先すること。

三、下水道整備事業エリアの見直しを研究するとともに、事業の延伸を視野に入れながら、最少の経費で最大の効果を発揮する浄化槽市町村設置型事業を推進すること。

四、健康づくり施策の推進と「医療、看護と介護」をセットにした新しい施策を研究し推進すること。

五、補助金等はゼロベースにし、必要性の高いものに交付すること。

六、委託事業は事業内容を精査し、無駄な部分を削減すること。

七、事業計画のない市有地等は売却すること。

八、市の方針を打ち出し、将来負担額の削減計画や掛川市の将来展望等について、市民へわかりやすく情報発信し理解を求めること。

国の政権交代が行われ、不透明な状況下ではあるが、市民のご理解をいただきながら一丸となって改革に取り組みする必要があります。



## 教育問題・子育て支援 対策特別委員会

本特別委員会は、教育の充実を図るべく、当面の諸課題、特別支援教育や子育て支援対策等の調査・研究するために設置されました。

主に討議・研究されたテーマは、「特別支援教育」「外国人児童生徒の支援」「子育て支援 少子化対策の評価・検証」です。

### 「特別支援教育」

特別支援教育の施策内容の調査、学級の実態、現場の声を聴取するため、市内大坂小学校を視察、現場で専門に携わる教職員との意見交換を行い、保護者の意見を聞く会も行いました。

### 課題と方向性

①一般市民への啓発が必要 ②幼い時から専門教育や医師の指導を受ける ③担当教員の指導力向上の体制づくり、増員等が重要である

### 「外国人児童生徒の支援」

掛川市の外国人登録者数は五、六一七人、うち学校に在籍する児童生徒数は二六六人、小中学校への就学率は五〇%でありました。(平成二十年十二月末現在)



### 課題と方向性

①外国人とのより良い共生事例についてPRする ②日本が好きな外国人が増加するよう調査研究が必要 ③全ての外国人児童生徒に教育が与えられる支援が大切である

### 「子育て支援・少子化対策」 評価・検証

現在、子ども医療費助成事業、出生祝い金支給事業や学童保育事業等があります。

また保育待機児童対策では、平成二十二年三月一日現在、四八人の待機児童がいました。

### 課題と方向性

①企業への働き掛けや障がい児への支援の充実を図る ②待機児童解消は引き続き努力が必要 ③保育園の新設や定員改訂について、当局の状況に理解と現場の状況に即した取り扱いを国・県に求める

# 一般質問 Q&A

## 地域健康医療支援センター(仮称)の整備計画は

大石與志登(創世会)

**Q** 健康医療日本一を目指し、新病院建設とともに在宅医療等を中心に市民の生活を支える地域健康医療支援センター(仮称)整備計画が出された。この二つの医療体制ができれば、医師不足の解消、地域医療の再生に大きく寄与する。五カ所に整備される計画であり、九月に市東部に第一号が開設されるが、新病院の開設まであと三年、南部地区を含め残り四カ所も早急に整備し、新病院の開設に備えるべきである。今後の整備計画について、市長の考えを伺う。

**A** 地域健康医療支援センターは、ワンストップで在宅の医療・介護を総合的に支援することを目的の一つとして整備を進めている。設置箇所については、高齢者の生活を支援している地域包括支援センターが市内五カ所に開設をされていることから、同程度の設置を想定して計画を進めている。

**Q** 新病院建設地にメデイカルスクールや特別支援学校など医療福祉関係の学校や健康・介護ビジネスを誘致して、健康医療ゾーンとしてのまちづくりをしてはどうか。

**A** 医療や介護施設に限定するのは難しい状況にある中、一般企業誘致を進めている。しかし、健康にかかわる関連企業や機関を誘致することは、医療や介護分野の人材や施設を集積させることにつながる。大変大切なことである。

## 新病院建設を核としたまちづくり構想を伺う

中上禮一(みどりの会)

**子どもはまちの財産  
子育ての原点は**

**Q** 現在掛川市には、通常の学級の中で特別な教育的支援が必要な子どもが四三二人いる。乳幼児、特にゼロ歳児・一歳児の教育はその後の成長に影響するといわれている。人生最初の教育者は親である。親を育てるということにもっと力を入れるべきと思うが。

**A** 子育ての基盤は家庭教育にあるという考えのもとで、各課が連携してさまざまな事業に取り組んでいる。各事業を通して、保護者が子育ての楽しさを味わい、保護者の愛はすべてにまされることが実感できるように、今後事業の充実に努めていく。

**Q** 健康医療日本一を目指し、新病院建設とともに在宅医療等を中心に市民の生活を支える地域健康医療支援センター(仮称)整備計画が出された。この二つの医療体制ができれば、医師不足の解消、地域医療の再生に大きく寄与する。五カ所に整備される計画であり、九月に市東部に第一号が開設されるが、新病院の開設まであと三年、南部地区を含め残り四カ所も早急に整備し、新病院の開設に備えるべきである。今後の整備計画について、市長の考えを伺う。

**A** 市内南部地域の施設としては、大東、大須賀両支所の建物内に開設し、支所業務と兼務する形で運営することを検討しており、残りの二カ所については、現有施設の有効利用を視野に入れつつ調査検討していく。平成二十四年度春の全センタースタートに向けて、万全な体制を築いていきたいと考えている。

〔他の質問事項〕都市計画税の見直しの方針案、工業基盤の整備と企業誘致、并財天河口公園整備他



支援センター第1号として整備予定の宮脇幼稚園跡



新病院建設地と造成地

〔他の質問事項〕一次医療は健康医療日本一へのキーワード、職員の一人一改革運動の成果は、補助金が曖昧に? 原理原則に立ち返って

# 一般質問 Q&A

## 計画変更の経緯を省みて 下水道事業の促進は

鈴木久男（創世会）

**Q** 環境日本一を目指す本市にとって、河川の水質保全のため、事業の促進は不可欠である。

集合処理と戸別による合併浄化槽の二つの事業効果を比較すれば、集合処理が望ましい。佐東地区では、集合処理計画が見直され、合併浄化槽に変更された経緯があり、市政不信に連なる声が大きい。住民理解を得るための今後の手法を伺う。

**A** 農業集落排水事業は、かつて国や県の補助も手厚く、市町村にとって有利な事業として推進してきたが、県の補助率が低下し、市負担が増大するなど市財政を圧迫する事業となってきた。

このため、計画の見直しを行い、浄化槽市町村整備推進事業に切り替えて水質浄化を図ることとした。合併浄化槽は性能も向上し、工期的にも短縮でき、財政面でも有利な事業である。市で管理する事により安定した処理能力が確保されるので、事業変更について理解をいただきたい。

〔他の質問事項〕バランスの取れた財政運営を、太陽光発電について、都市計画税見直しに期待

## 地域健康医療支援センター（仮称）について伺う

山本行男（公明党かけがわ）

**Q** 医療、保健、福祉、介護の総合支援を行うこのセンター構想は他職種との連携体制のため、またまた問題点が多い。そこで在宅介護の方向に掛川市は考えているが核家族化の中、大丈夫なのか。また小笠医師会の協力はどの様になっているのかを伺う。

**A** 在宅医療では、かかりつけ医が中心となって支え、往診体制は医師会のチームを核として、訪問看護とともに体制整備を推進する。小笠医師会には、往診体制について主体的に検討していただき、市としてもこれを支える体制の整備を行っていく。

**A** 広域消防については磐田、袋井、森田で一部となりそうだが袋井市との新病院での救急搬送に問題はないのか。

**A** 消防庁調査では、当市の設置率は三六・四％。その後消防本部の調査では、三四％から六七・二％と地区によりばらつきがあり、低い設置率であるので、今後も設置推進を図っていく。

異なった消防本部の救急隊が傷病者を搬送することになり、病院と救急隊との調整に時間を要することや、転院搬送などの患者情報の共有が図れないなどのデメリットが生じてしまうため、関係強化のための努力が必要となる。

〔他の質問事項〕女性のがん検診、公共交通対策、さらなる自主財源確保



合併浄化槽設置工事状況



**Q** 消防法改正により二〇一一年六月までに住宅用火災警報器の設置が義務化された。当市の設置率の現状はいかがか。



救急搬送に問題はないか

# 一般質問 Q&A

## 掛川茶の消費拡大と、 販路開拓の推進について伺う

山崎恒男（創世会）

**Q** 市は、お茶の日の制定、緑茶効能の医療研究等、消費拡大に努力し、心強く思っている。今後さらに、市長として掛川茶振興協会と共に販売促進を推進する必要があると思うが、見解を伺う。

**A** 掛川茶の付加価値を高め、売れるお茶づくりを目指す。また、姉妹都市の奥州市を東北地方の販売拠点として位置付け、トップセールスによる販路開拓を図る。掛川茶振興協会の事業で「掛川茶ブランド委員会」を設置し、新品種の産地格付基準の検討、加工品開発、おいしい掛川茶が飲める店の認定制度等を実施している。市民からのアイデア募集をし、より効果的な事業を実施していく。

## 西環状線促進と、 市道桜木中央線の 整備促進を伺う

**Q** 三年後、第二東名開通に伴い掛川天竜線の渋滞

が危惧され、西環状線の早期着工促進が必要である。掛川天竜線から迂回する車両が桜木中央線に流入し、現状でも危険な市道の危険度がさらに増大する。早期整備促進について見解を伺う。

**A** 西環状線は路線決定に向けた作業を実施中で、県道バイパス機能の必要性・重要性の理解を求め、県道として早期着手への取り組みを進める。桜木中央線整備は地域の実情に合った機能を確保し、低コストで安心安全な整備計画を推進する。

〔他の質問事項〕新しい公共と生涯学習都市宣言との整合



東山の優良茶園

## 医学生修学資金貸付制度の 利用実態と今後の充実策は

葉原通泰（創世会）

**Q** 医師確保策の一環として市独自の医学生に対する貸付制度があるが、利用者が少ないと聞く。制度を充実する考えはないか伺う。

**A** 平成十九年以降五人の医学生が貸付を利用している。対象学生を全大学に広げ貸付額も増額し、内容の充実を図っているが、新病院における医師確保策としても、総合的に検討し見直しをしていく。

## 市民自治活動 基本条例（仮称）で 「住民投票制度」 導入の検討は

**Q** 市民自治活動基本条例（仮称）制定に向け委員会で鋭意検討中ではあるが、検討項目の一つとして「住民投票制度」導入の是非について、検討していく考えはあるのか伺う。また外国人に対する制度適用は。

**A** 現在、市民委員会のみなさんによる検討が進められているが、まだ具体的な形にはなっていない。市民委員会の検討も見守りつつ様々な要素を勘案し、条例に盛り込むべきかどうかの判断をしていきたい。外国人への制度適用についても現段階では未定である。

〔他の質問事項〕ブラジル人学校「ムンドノボ」の行方、平塚古墳の保存

### 掛川市医学生修学資金 貸付要綱概略

- 一、将来医師として、市立病院で医療業務に従事する意思のある医学部大学生とする。
- 二、貸付対象者は一年度につき六人以内とし、貸付額は月額二十万円とする。
- 三、市立病院の医師として従事した月数が修学資金の貸付を受けた期間の一・五倍に相当する月数を従事すれば、債務返済はしなくてもよい。

※詳細を知りたい方は市立病院経営企画課にお問い合わせください。

# 一般質問 Q&A

## 松井市政の新年度予算に懸ける 思いを問う

大庭博雄（誠和会）

**Q** 新年度予算は、市のビジョン「誰もが住みたくなるまち、希望が見えるまち掛川」の三つの柱①健康医療日本②環境日本③市民活動日本一、の達成を目指して編成されたと考える。到達する姿を全市民で共有化するため、標的（目標値）と方策を具体的に示す必要がある。この予算の中で、どのように示されているか伺う。

**A** 子ども医療費助成を小学校三年生まで広げる、在宅医療・介護の総合的な相談支援を行う（仮称）地域健康医療支援センターの体制整備、太陽光発電施設を全小中学校設置、市民自治活動基本条例の策定等、マネフェスト実現へ向けての予算編成である。どのような成果指標を数値目標とするかは今後検討する。



幼保8園化構想の7番目「三笠幼稚園」開園

## 幼保八園化構想の意義と保育行政の今後の課題は

**Q** 少子化、夫婦共働きが急速に進む中、市は先を見越して幼稚園と保育園を一元化し幼保八園化構想を進めてきた。しかし、保育園の待機児童は一向になくならない。この計画の評価と保育行政の今後の課題・対応策を伺う。

**A** 再編計画策定時の課題はほぼ解消し、目標としていた「同一場所で同一保育がなされ質の高い幼児教育を保障する」ことも就学前教育が概ね達成されている。待機児童対策は認可外保育への支援、保育ママ事業の実施、幼稚園の預かり保育事業等で充実を図る。また市南部地区乳幼児教育検討委員会で検討を行い、再編等の方向性を示していく。

【他の質問事項】新病院建設の関連事業

## 都市計画税の課税、非合理であることを認めるか

柴田正美（共産党掛川市議員）

**Q** ①旧掛川市の用途地域外課税は大須賀本谷の宅地・建物課税を超えて農地や山林にも課税されていた。よろしくないか。  
②違法ではないが、さらにおかしき問題があるから見直しするのかが。  
③都市計画事業で支払っている過去の借金の返済分十億七千八百万円には大東・大須賀分の元利償還は含まれているか。

**A** ①条例で定められた地域への課税は違法ではないが、山の中に都市計画税を課税したことについては、果たして合理性があるのかなという疑問を持っている。  
②そういうことで私も考えている。  
③償還額のうち、旧大須賀町分が九、二七七万円、二番町公園や洋望台土地地区画整理事業などの借入分で、旧大東町分はない。

## 市役所幹部職員の外郭団体等への再就職を問う

**Q** 幹部職員等には長年固定枠が確保され、平成二十一年には三三名が在職している。公募にしたらどうか。  
**A** 平成二十二年度から勸奨退職の取り扱いが行われないため定年まで勤めることとなるので、原則として職員の再就職のあっせんはしない。事業所職員の採用は、公募制になるよう市としてもお願いしていく。

【他の質問事項】雇用対策・中小業者の支援



東山地内、山林や茶園にも50年余課税されていた。都市計画税は現在も宅地、建物に課税されている。

## 議会を振り返って

議長 佐藤博俊

平成21年度を振り返り所感を申し上げます。先の選挙で松井市長が誕生、議会は残念なことに女性不在の24名となり、また3会派から6会派となり、不安の声あるも会派内の絆は固く却って緊張感のもと、議会運営は順調でした。

財政面は2年で45億円の税収減に対し、

医療、福祉、教育費は年々膨張、合併重点事業延伸では「希望の見えるまち」は不安です。掛川市・袋井市新病院建設事務組合が昨年7月設置、3年後開院の方向が決まり、また、掛川市・奥州市姉妹都市提携がされ、両市発展への礎ができ、市民交流に期待いたします。

## 議会運営の1年間の感想・課題

議会運営委員会 委員長 加藤一司

昨年の市議会議員選挙から議員の発議で定数30人を6人減員し24人と定め、約2億円の財政改革につなげてきましたが、一人あたりの活動範囲は広がり、今まで以上に多くの市民の方との関係が生まれました。また、この議員活動を支えるものは、大切な政務調査費であります。この厳しい財政状況の中、22年度から当分の間、貴重な政

務調査費を議員一人月額5千円引き下げ2万5千円としました。

議会運営委員会では、市の抱える課題に議会の効率よく運営するための協議をしています。その中で「一般質問が一括質疑・一括回答ではわかりにくい」という声があり、一問一答制など調査・検討する特別委員会を設置する方向で議論をしています。

## 3月定例会で可決された意見書

### 茶業振興に関する意見書

〔提出先〕 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、副総理・財務大臣、農林水産大臣

### 国民健康保険制度の抜本的見直しに関する意見書

〔提出先〕 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、副総理・財務大臣、内閣官房長官、総務大臣、厚生労働大臣

### 幼児教育(幼・保)の無償化と保育サービスの充実を求める意見書

〔提出先〕 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、副総理・財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、国家戦略担当大臣、内閣官房長官

### 子ども手当財源の地方負担に反対する意見書

〔提出先〕 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、副総理・財務大臣、国家戦略担当大臣、厚生労働大臣、総務大臣、内閣官房長官

### 3月定例会における議案の審議結果（主なもの）

	議案名	議決内容
予 算	平成22年度一般会計予算	賛成多数可決
	平成22年度国民健康保険特別会計予算	賛成多数可決
	平成22年度老人保健特別会計予算	賛成多数可決
	平成22年度後期高齢者医療保険特別会計予算	賛成多数可決
	平成22年度介護保険特別会計予算	賛成多数可決
	平成22年度財産区特別会計予算〔上西郷、桜木、東山、佐束〕	全会一致可決
	平成22年度病院事業会計予算	賛成多数可決
	平成22年度水道事業会計予算	賛成多数可決
	平成21年度一般会計補正予算（第5号）	全会一致可決
	平成21年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	賛成多数可決
	平成21年度後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第3号）	賛成多数可決
	平成21年度介護保険特別会計補正予算（第3号）	賛成多数可決
条 例	掛川市部設置条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び掛川市職員の給与に関する条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市自転車等駐車場条例の一部改正について	全会一致可決
	掛川市立幼稚園保育料徴収条例の一部改正について	全会一致可決
一 般	公の施設の指定管理者の指定について（22世紀の丘公園）他3件	全会一致可決
人 事	掛川市教育委員会委員の任命について	全会一致同意
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	全会一致同意
請 願	「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の提出に関する請願書	賛成少数不採択
陳 情	JR不採用問題の早期解決を求める意見書の採択を求める陳情書	賛成少数不採択
	「たばこ税増税反対」に関する意見書採択に関する陳情	全会一致不採択
	「最低賃金法の見直しと最低賃金の大幅引き上げを求める意見書」の提出に関する陳情書	賛成少数不採択

**3月**

**3月定例会の経過**

24 日	17 日	16 日	12 日	11 日	10 日	5 日	2 日	1 日
<p>                     1日 本会議 市長施政方針、各議案提案理由説明及び補足説明                      2日 本会議 各議案補足説明                      5日 本会議 平成二十一年度補正予算関係議案等質疑、一部議案採決、常任委員会付託                      10日 常任委員会 付託議案審査                      本会議 常任委員会委員長報告（平成二十一年度補正予算関係議案）質疑、討論、採決                      特別委員会委員長報告                      本会議 一般質問                      本会議 一般質問                      本会議 平成二十二年年度予算及び条例関係議案等質疑、常任委員会付託                      常任委員会 付託議案審査                      常任委員会 付託議案審査                      本会議 常任委員会委員長報告（平成二十二年年度予算及び条例関係議案等）質疑、討論、採決。（人事関係議案）市長提案理由説明、採決、議会提案（意見書）採決、議員派遣採決                 </p>								

# 議会 日誌



## 1 月

- 14日 ● 財政問題特別委員会
- 18日 ● 経済建設委員会
- 教育問題・子育て支援対策特別委員会
- 21日 ● 市議会全員協議会
- 議会運営委員会
- 新病院建設・地域医療対策特別委員会
- 26日 ● 経済建設委員会協議会

## 2 月

- 1日 ● 文教厚生委員会協議会
- 4日 ● 掛川市・菊川市衛生施設組合議会

- 9日 ● 議員懇談会
- 財政問題特別委員会
- 教育問題・子育て支援対策特別委員会
- 12日 ● 東遠広域施設組合議会
- 15日 ● 東遠地区聖苑組合議会
- 東遠学園組合議会
- 16日 ● 小笠老人ホーム施設組合議会
- 18日 ● 掛川市・袋井市新病院建設事務組合議会
- 19日 ● 市議会全員協議会
- 22日 ● 議会運営委員会
- 議員懇談会
- 24日 ● 太田川原野谷川治水水防組合議会
- 中東遠看護専門学校組合議会
- 浅羽地域湛水防除施設組合議会
- 東遠工業用水道企業団議会

## 3 月

- 1日～24日
- 掛川市議会第1回(3月)定例会
- 2日 ● 新病院建設・地域医療対策特別委員会
- 4日 ● 議会だより編集特別委員会
- 8日 ● 経済建設委員会現地視察
- 10日 ● 議会運営委員会
- 12日 ● 議会運営委員会
- 25日 ● 議会だより編集特別委員会
- 30日 ● 新病院建設・地域医療対策特別委員会

## 4 月

- 13日 ● 議会だより編集特別委員会

## 5月臨時会 6月定例会の予定

### 5月

- 14日 臨時会 (議会構成等)

### 6月

- 21日 本会議 (議案の提案説明)
- 29日 本会議 (一般質問)
- 30日 本会議 (一般質問)

### 7月

- 1日 本会議 (議案質疑、委員会付託) 常任委員会
- 5日 企業会計決算特別委員会
- 12日 本会議 (委員長報告、質疑、討論、採決)

## 傍聴席

### 議会を傍聴して感じたこと

第一回の通常議会を傍聴する機会に巡り会った。市議会に関心が無かった訳ではないが、時にインターネットで視聴する程度だった。本日の答弁を聞いて、質問者である議員はそれなりの器量があるものだと思えた。質問事項に対するいろいろな情報を調べ上げ整理整然と市長や関係者に相対するからだ。まさにデータで勝負する三十分間の緊迫したやりとりだ。インターネットで見

議会といえば「市長と議員の聖域」馴染めない場所との先入観があったが今日の傍聴でその気持ちが払拭できた。私のような感じをお持ちの方もなりいると思うが是非とも「生の臨場感ある議会」を傍聴していただきたい。いちばん身近な市政に興味・関心を持ち続けたいものだ。質問者の事前準備が充実し答弁が活発な議会を期待しながら、また足を運ぶ予定だ。

松下正志 (下土方地区)

## 編集後記

市民の皆様にあいさつ、期待される「議会だより」と願い八名の委員が心を一つにして、年五回の編集、発行に携わり、今回が最後の編集となりました。

議会だよりは二つの機能があるかと思えます。一つは市政及び議会の情報を正しくわかりやすく伝達する役目。他方、議員・議会に寄せられる意見、要望等に対する答えの役割も兼ねていると思います。

今後も、特別委員会として、皆様の負託に応えられる「議会だより」作りに全力を尽くします。ご意見、ご指導をよろしく願います。

新年度も変わらぬご愛読をお願いします。

議会だより編集特別委員長

水野 薫

